

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成23年7月14日(2011.7.14)

【公開番号】特開2009-62537(P2009-62537A)

【公開日】平成21年3月26日(2009.3.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-012

【出願番号】特願2008-228384(P2008-228384)

【国際特許分類】

C 0 8 G 61/12 (2006.01)

H 0 1 L 51/05 (2006.01)

H 0 1 L 51/30 (2006.01)

H 0 1 L 51/40 (2006.01)

H 0 1 L 29/786 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 61/12

H 0 1 L 29/28 1 0 0 A

H 0 1 L 29/28 2 5 0 G

H 0 1 L 29/28 3 1 0 J

H 0 1 L 29/78 6 1 8 B

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月1日(2011.6.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

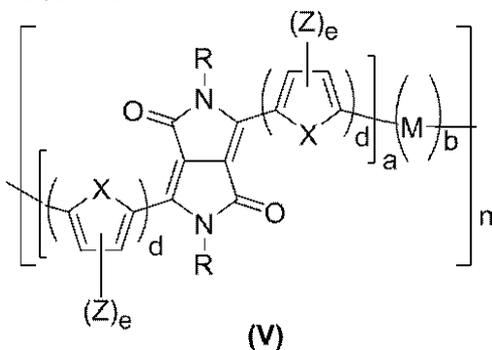
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

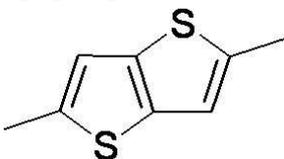
下式で表される構造を有するポリマー。

【化1】

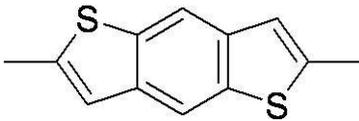


式中、各 R は水素原子、置換されてもよい炭化水素およびヘテロ原子含有基から独立に選択され、各 M は下式構造およびその置換誘導体、ならびにそれらの組み合わせから選択される共役部分であり、

【化2】



【化3】



a は 1 以上の数を表し、b は 1 ~ 20 の数を表し、n は 2 ~ 5000 の数であり、各 X は S、Se、O および NR' から独立に選択され、各 R' は水素原子、置換されてもよい炭化水素およびヘテロ原子含有基から独立に選択され、各 Z は独立に置換されてもよい炭化水素、ヘテロ原子含有基またはハロゲン原子であり、d は 1 以上の数であり、e は 0 ~ 2 の数である。

【請求項2】

前記 a は 1 である、請求項 1 に記載のポリマー。

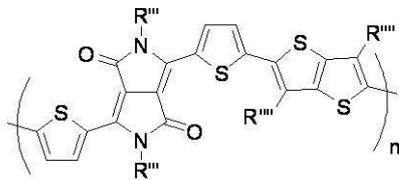
【請求項3】

前記各 d は 1 である、請求項 1 に記載のポリマー。

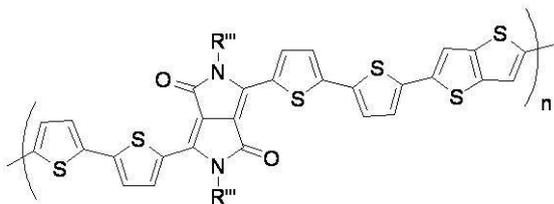
【請求項4】

下式構造からなる群から選択されるかその混合物である、請求項 1 に記載のポリマー。

【化4】



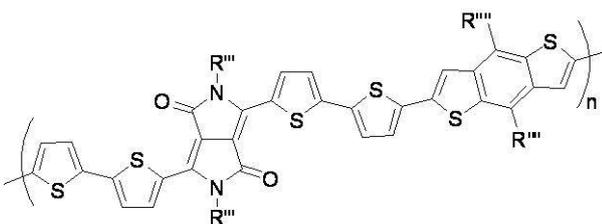
(48)



(49)



(50)



(51)

式中、n は 2 ~ 5000 である繰り返し単位の数であり、R'、R'、および R' は同じであっても異なってもよい置換基であり、当該置換基は置換されてもよい炭化水素

基およびヘテロ原子含有基からなる群から独立に選択される。